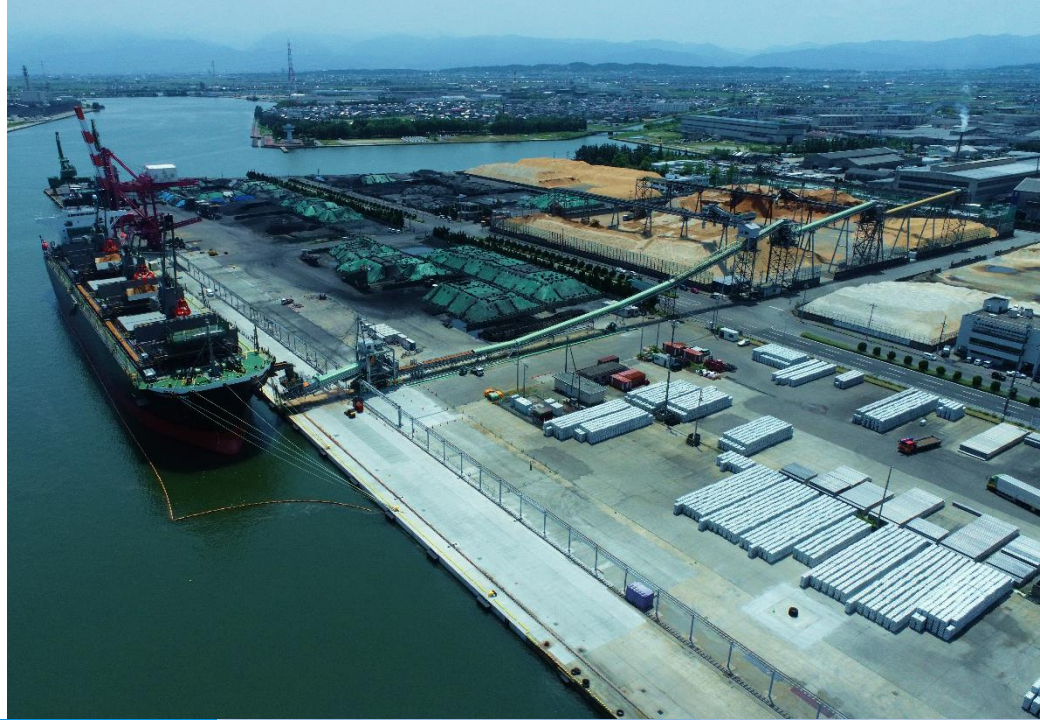


2025年3月期 第2四半期（中間期）

決算説明会資料

2024年11月20日



私たちの今が、社会の未来を創る

Create Value, Build the Future





この資料には、当社の将来についての計画や戦略、業績に関する見通しの記述が含まれています。
これらの記述は当社が現時点で把握可能な情報から判断した仮定及び所信に基づく見通しです。
また、経済環境、市場動向、為替レートなどの外部環境の影響があります。従って、これら業績見通しのみに全面的に依拠することはお控え頂きますようお願い致します。
また、実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これら業績見通しと異なる結果となりうることをご承知おきください。



- 決算ダイジェスト
- 業績サマリー
- バランスシート
- キャッシュ・フロー
- 事業分野別の状況①～⑥
- 主な完成工事
- 主要受注工事一覧



- 受注高（単体）・売上高・売上総利益・営業利益・経常利益・中間純利益のすべてにおいて、
中間連結会計期間としては過去最高を更新

受注高（単体）

1,720億円 
+ 0.3%

売上高

1,498億円 
+ 15.1%

売上総利益

159億円 
+ 17.8%

営業利益

94億円 
+ 26.1%

中間純利益※

66億円 
+ 48.2%

※中間純利益＝親会社株主に帰属する中間純利益

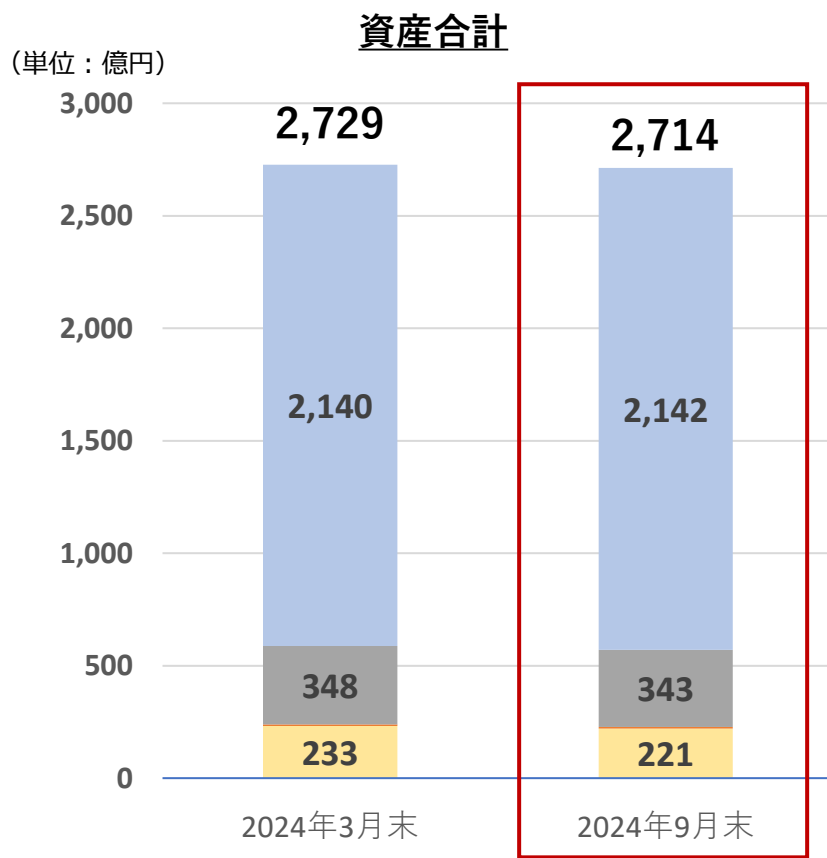
2025年3月期 中間期業績サマリー（連結）

- 受注高（単体）：東南アジアで複数の大型案件を獲得したこと等により増加
- 売上高：大型案件を中心に、順調に工事が進捗し増収
- 売上総利益：売上高増加、大型案件の採算改善、高採算案件の堅調な進捗等により増益
- 営業利益：売上総利益の増加により増益
- 親会社株主に帰属する中間純利益：経常利益の増加、投資有価証券の売却益計上により増益

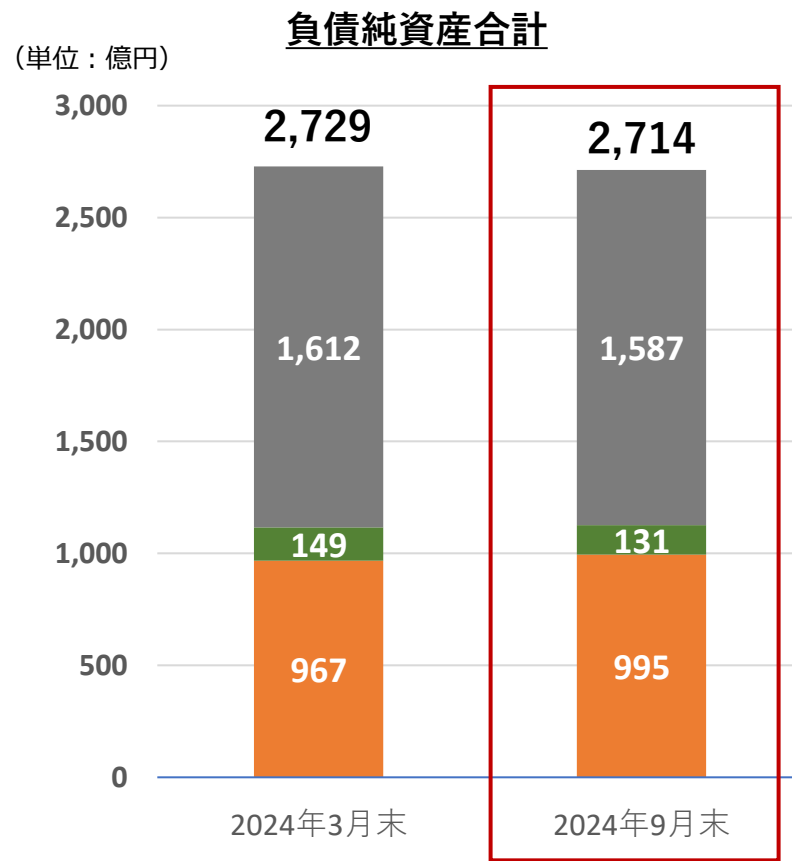
（単位：億円）	2024年3月期 中間期	2025年3月期 中間期	増減額	増減率（％）
受注高（単体）	1,715	1,720	5	0.3
売上高	1,301	1,498	196	15.1
売上総利益	135	159	24	17.8
販売費及び一般管理費	60	65	4	7.5
営業利益	74	94	19	26.1
経常利益	71	91	19	27.8
親会社株主に帰属する 中間純利益	44	66	21	48.2

バランスシート（連結）について

- 資産：現金預金が減少、受取手形・完成工事未収入金等が増加
- 負債：支払手形・工事未払金等、借入金等が減少、未成工事受入金が増加
- 自己資本比率：36.2%（前期末比1.2ポイント増）



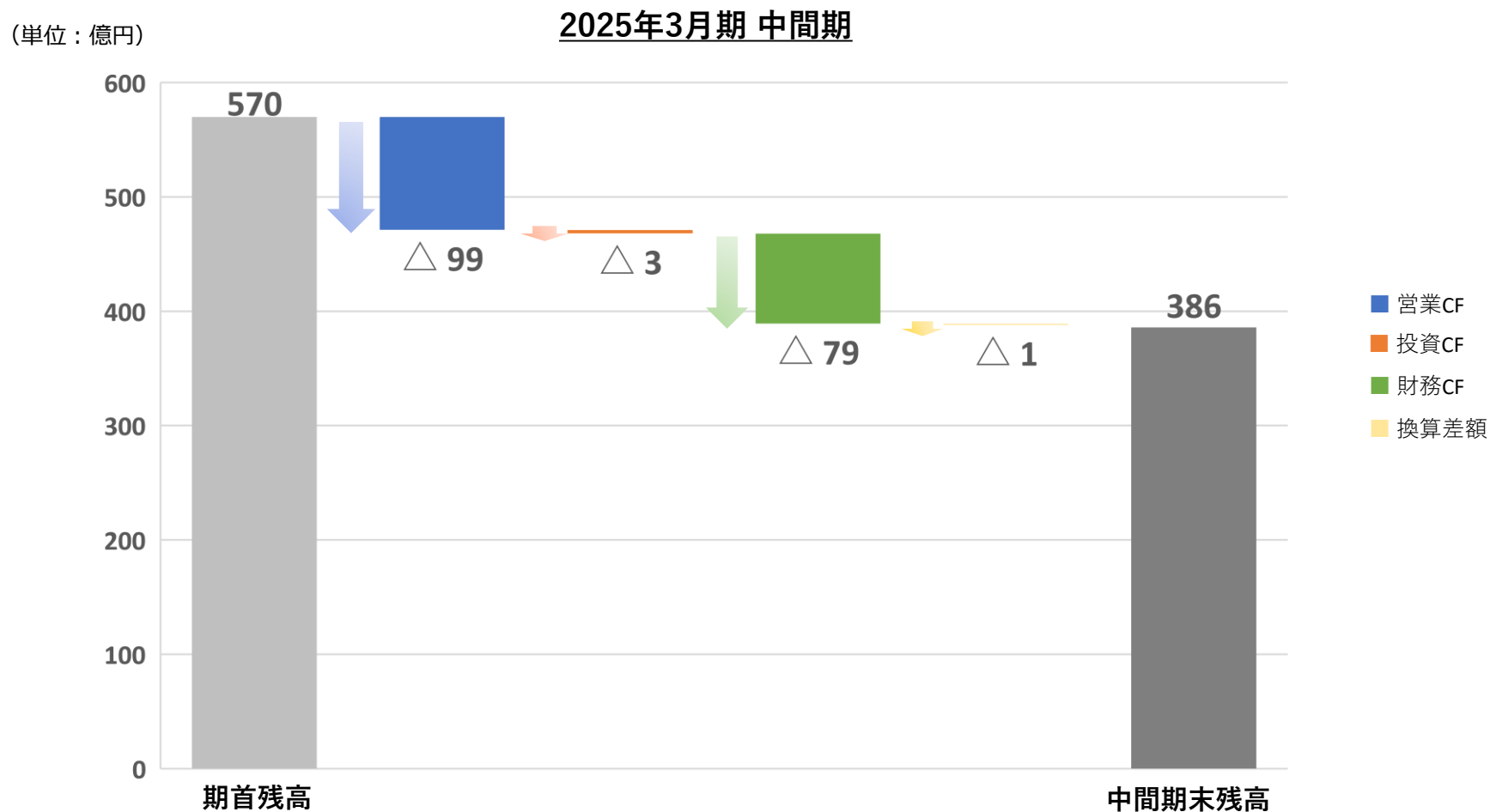
■ 流動資産 ■ 有形固定資産 ■ 無形固定資産 ■ 投資その他



■ 流動負債 ■ 固定負債 ■ 純資産

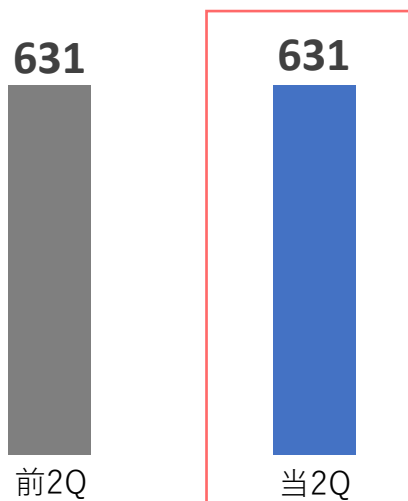
キャッシュ・フロー（連結）について

- 営業CF：売上債権の増加、仕入債務の減少等により、減少
- 投資CF：投資有価証券の売却はあったものの、固定資産の取得による支出等により減少
- 財務CF：借入金等の返済、配当金の支払等により減少



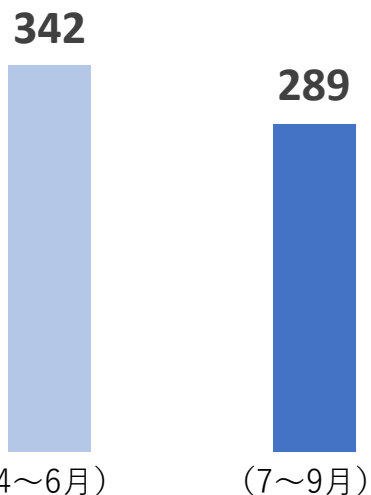
事業分野別の状況① 国内土木：受注高（単体）

（単位：億円）



前年同期比

- ・ 前中間期は大型案件の設計変更を受注
- ・ 当中間期は民間工事の受注が伸長
- ・ 前年同期並み



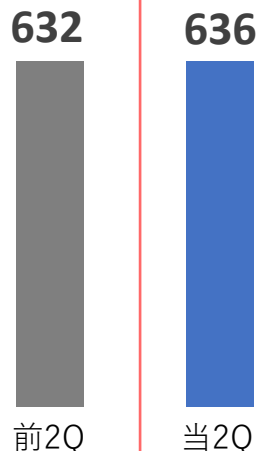
第1四半期（4～6月の3か月）と 第2四半期（7～9月の3か月）との比較

- ・ 4～6月は、民間の大型案件を受注
- ・ 7～9月は、複数の陸上土木案件を受注
- ・ 計画を上回るペースで進捗

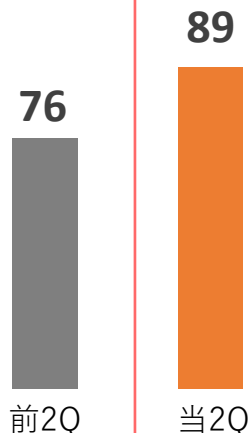
事業分野別の状況② 国内土木：売上高/売上総利益（単体）

（単位：億円）

売上高



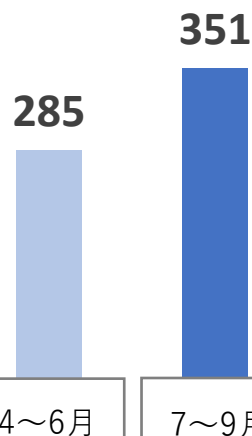
売上総利益



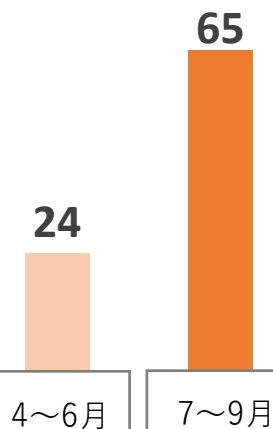
前年同期比

- ・売上高は、前年度に引き続き豊富な手持工事が堅調に推移しており、前年同期並み
- ・売上総利益は、前期から繰り越している複数の大型案件の採算が改善したこと等により、前年同期比増益

売上高



売上総利益

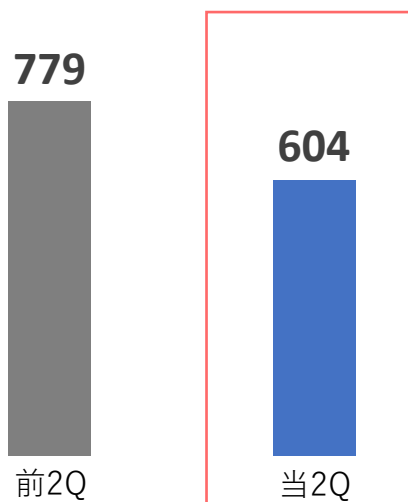


第1四半期（4～6月の3か月）と 第2四半期（7～9月の3か月）との比較

- ・売上高は、手持工事が進捗し増収
- ・売上総利益は、売上高の増加のほか、7～9月に複数の大型案件の採算が改善したことにより、4～6月を大幅に上回る65億円の売上総利益を計上

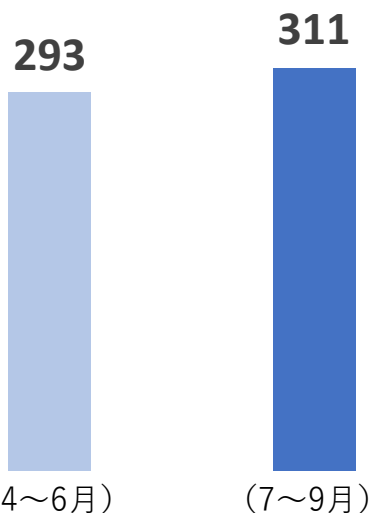
事業分野別の状況③ 国内建築：受注高（単体）

（単位：億円）



前年同期比

- ・ 前中間期は物流施設分野の大型案件を受注
- ・ 当中間期は、豊富な手持工事を着実に消化することを優先しており、前年同期比減少
- ・ 病院や福祉施設など、着実に事業領域を拡大



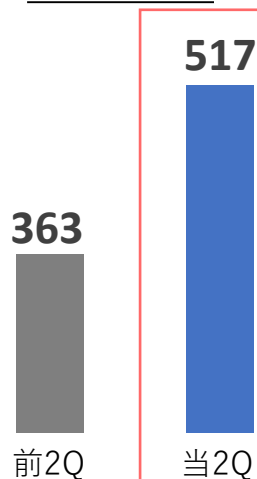
第1四半期（4～6月の3か月）と 第2四半期（7～9月の3か月）との比較

- ・ 4～6月は、物流施設の案件をはじめ、病院や福祉施設などの受注を獲得
- ・ 7～9月は、物流や福祉施設の案件のほか、PFI事業関連施設やマンションなどの受注を獲得

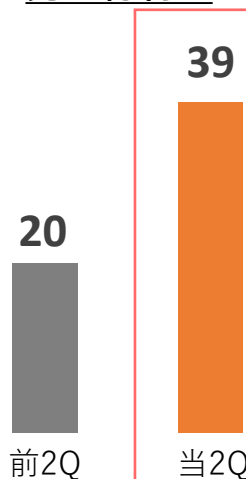
事業分野別の状況④ 国内建築：売上高/売上総利益（単体）

（単位：億円）

売上高



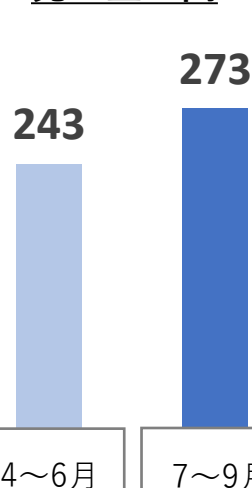
売上総利益



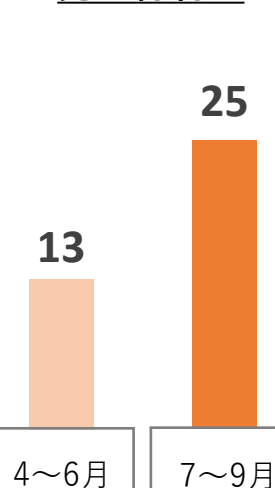
前年同期比

- ・ 売上高は、物流施設分野の大型案件を中心に順調に工事が進捗し、前年同期比大幅増収
- ・ 売上総利益は、売上高の増加や、利益率の高い案件が堅調に推移したこと等により、前年同期比大幅増益

売上高



売上総利益

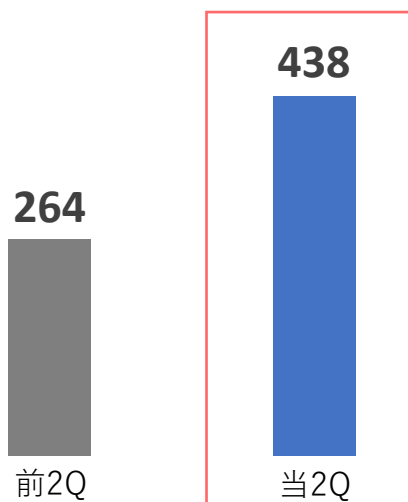


第1四半期（4～6月の3か月）と 第2四半期（7～9月の3か月）との比較

- ・ 売上高は、手持工事が進捗し増収
- ・ 売上総利益は、売上高の増加のほか、7～9月に最盛期を迎えた高採算案件の進捗が大きく寄与し、4～6月を大幅に上回る25億円の売上総利益を計上

事業分野別の状況⑤ 海外：受注高（単体）

（単位：億円）

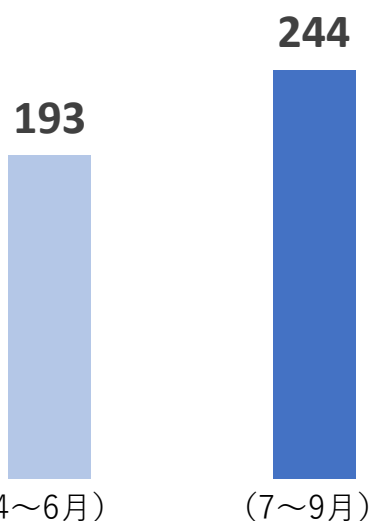


前年同期比

- ・ 当中間期は東南アジアで複数の大型案件を受注

シンガポール共和国

- ・ テコン地区埋立工事（その4）
- ・ トゥアス港第1期
コンテナバース（5バース）建設工事



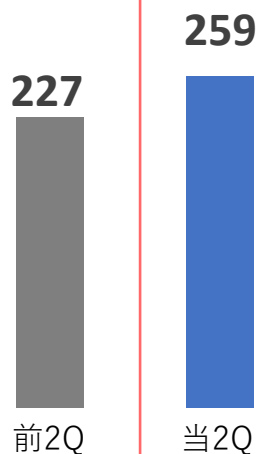
第1四半期（4～6月の3か月）と 第2四半期（7～9月の3か月）との比較

- ・ 4～6月、7～9月、いずれも大型案件を受注
- ・ 計画を大幅に上回るペースで進捗
- ・ 着工までに時間を要する工事が多いため、
施工能力は充分備えている

事業分野別の状況⑥ 海外：売上高/売上総利益（単体）

（単位：億円）

売上高



売上総利益

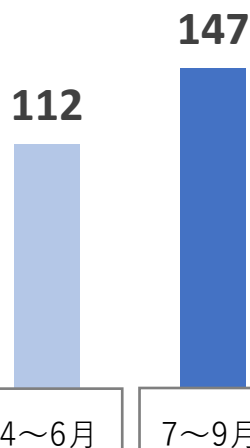


前年同期比

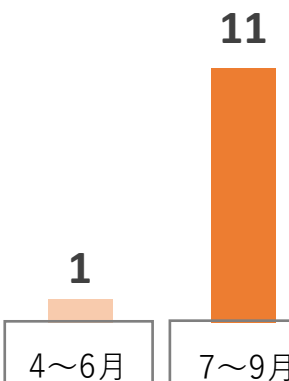
- ・売上高は、大型案件を中心に順調に工事が進捗し、前年同期比増収
- ・売上総利益は、一部不採算案件の影響はあるが、ほぼ計画どおりに進捗

※ 不採算案件は、前期に工事損失引当金を計上済み

売上高



売上総利益



第1四半期（4～6月の3か月）と 第2四半期（7～9月の3か月）との比較

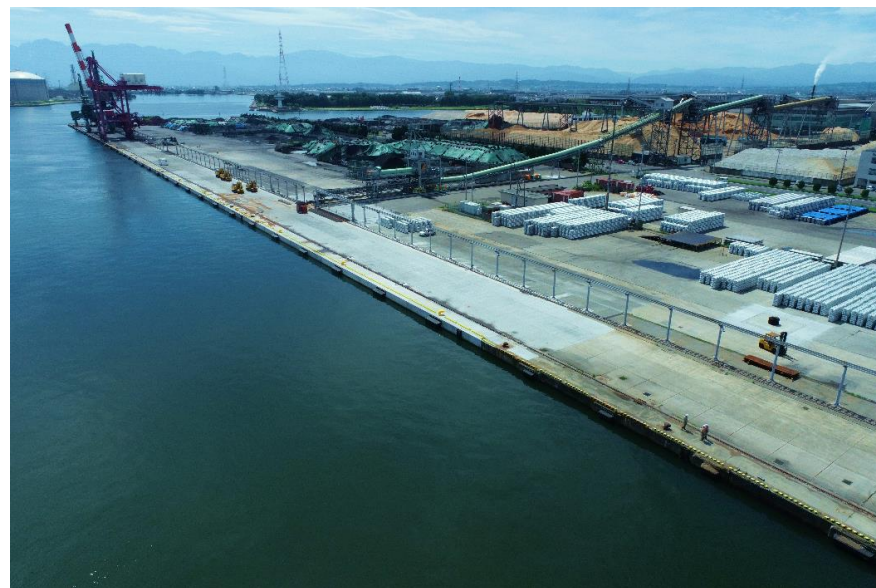
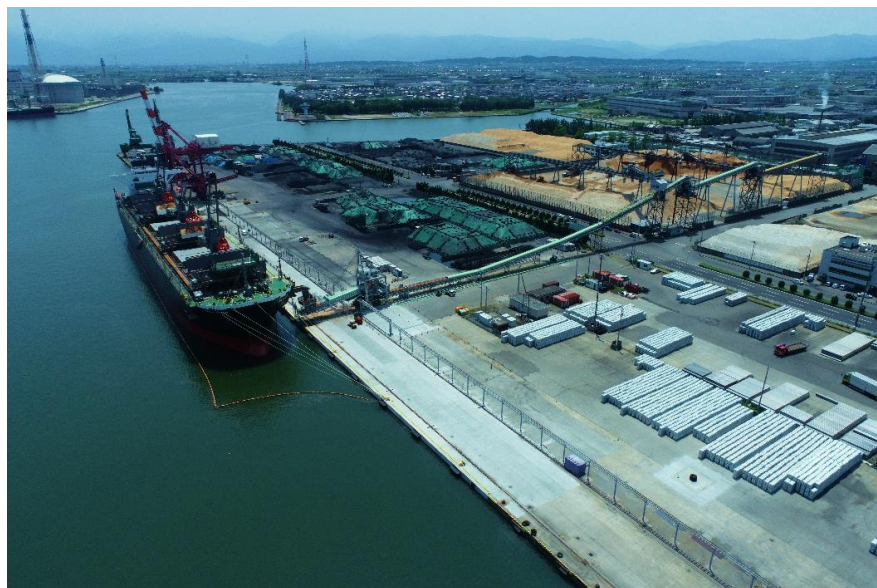
- ・売上高は、手持工事が進捗し増収
- ・売上総利益は、4～6月は急激な円安の進行により利益の進捗が停滞していたが、7～9月においては為替影響が低減され、11億円の売上総利益を計上

伏木富山港(新湊地区)岸壁(-14m)(中央2号)(改良)築造工事(その2)

〈発注者：国土交通省北陸地方整備局〉

富山県の伏木富山港（新湊地区）では令和元年度から中央ふ頭における非効率な荷役の解消及び取扱貨物の増加に対応するため「伏木富山港（新湊地区）中央ふ頭再編整備事業」が実施されました。当社は、中央2号岸壁の岸壁増深改良に携わりました。

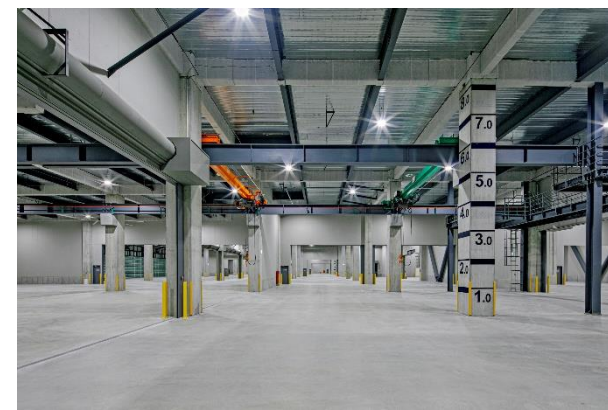
北陸地域で最大規模となる水深14メートルの連続岸壁が完成し、大型バルク船の2隻同時着岸が可能となったことにより、物流効率化による地域の産業競争力の強化に貢献しています。



（仮称）UI湖南ロジスティクスセンター第Ⅰ期計画新築工事

この建物は、滋賀県に位置する最新鋭の大型物流施設であり、地域の物流インフラを支える重要な拠点となっています。

また、省エネ性能向上に向けた取組みとして、屋上に太陽光パネルを設置するなど、持続可能かつ効率的なエネルギーの利用を推進しています。これにより、施設全体に必要な電力量のうち約50%を低コスト化し、環境負荷の低減に寄与しています。



中間期までの主要受注工事一覧

事業区分	工事名	発注者名	施工形態	契約工期（自～至）	
国内土木	神戸複合産業団地南地区造成工事(その1)	兵庫県神戸市	JV	2024年 7月	2029年 3月
	中野区中野四丁目付近枝線工事	東京都下水道局	単独	2024年 7月	2027年 5月
	令和 6 年度 横浜港新本牧地区中仕切堤他海上地盤改良工事	国土交通省関東地方整備局	JV	2024年 6月	2025年 10月
	神戸港航路附帯施設築造工事(第6工区)	国土交通省近畿地方整備局	JV	2024年 4月	2025年 3月
	令和 6 年度 名古屋港新土砂処分場埋立護岸基礎工事	国土交通省中部地方整備局	JV	2024年 5月	2025年 2月
国内建築	横須賀（５）病院新設建築工事	防衛省南関東防衛局	単独	2024年 3月	2027年 3月
	大田区南千束一丁目有料老人ホーム計画新築工事	三菱地所レジデンス（株）	単独	2024年 4月	2025年 12月
	C P D一宮新築工事	一宮ロジスティクス特定目的会社	JV	2023年 7月	2026年 2月
	市川市斎場整備運営等事業設計・建設工事	千葉県市川市	JV	2024年 9月	2028年 8月
	（仮称）ヴェルディ野田二丁目 増築工事	（株）信和ホーム	単独	2024年 4月	2026年 9月
海外	テコン地区埋立工事（その４）	シンガポール住宅開発庁	単独	2024年 6月	2027年 10月



- 業績見通し(連結)
- 事業分野別の見通し①～③



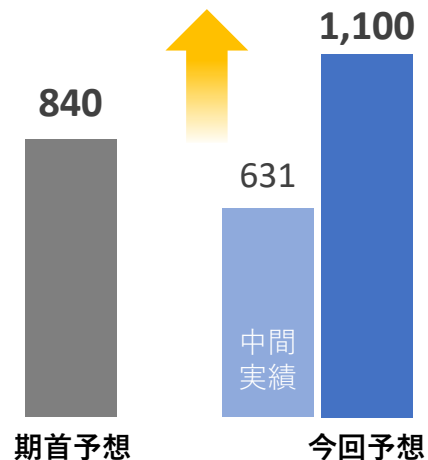
2025年3月期 業績見通し（連結）

- 受注高（単体）：すべての事業分野において、上方修正
- 営業利益：複数の大型案件の採算が改善したことや、下期も手持工事が堅調に推移することを見込み、上方修正
- 経常利益：営業利益の増加により、上方修正
- 当期純利益：政策保有株式の売却を進め、特別利益として投資有価証券売却益を計上することにより、上方修正

（単位：億円）	前回発表予想	今回発表予想	増減額	増減率
受注高（単体）	2,100	2,730	630	30.0%
売上高	3,000	3,000	—	—
売上総利益	258	284	26	10.1%
販売費及び一般管理費	138	138	—	—
営業利益	120	146	26	21.7%
経常利益	118	144	26	22.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	80	107	27	33.8%

事業分野別の見通し① 国内土木（単体）

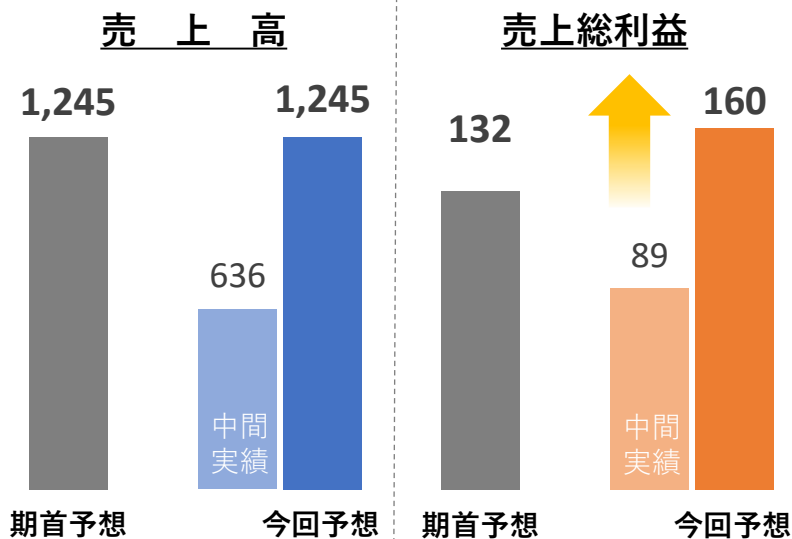
（単位：億円）



受注高

- ・ 期首予想に対し260億円増加する見通し

（単位：億円）

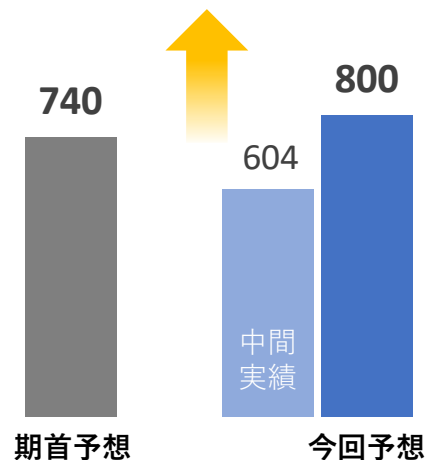


売上高・売上総利益

- ・ 売上高は期首予想どおりに堅調に推移
- ・ 売上総利益は複数の大型工事の採算が改善したことにより、上方修正

事業分野別の見通し② 国内建築（単体）

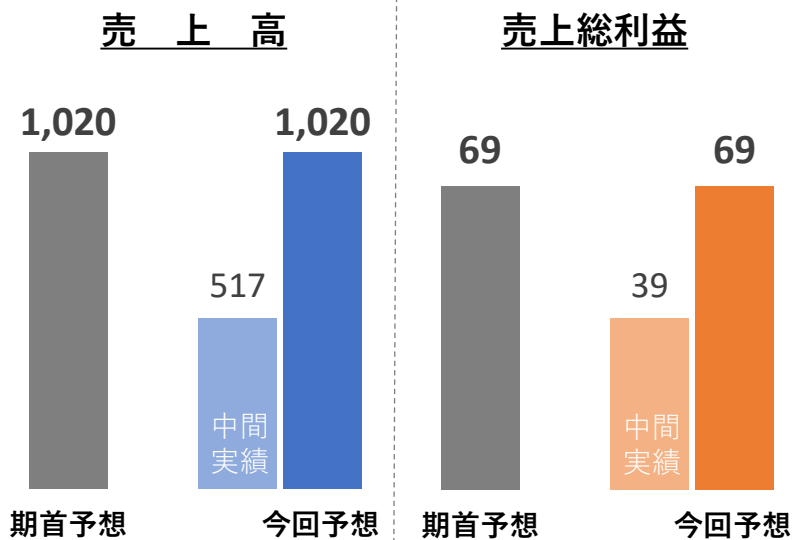
（単位：億円）



受注高

- ・ 期首予想に対し60億円増加する見通し

（単位：億円）

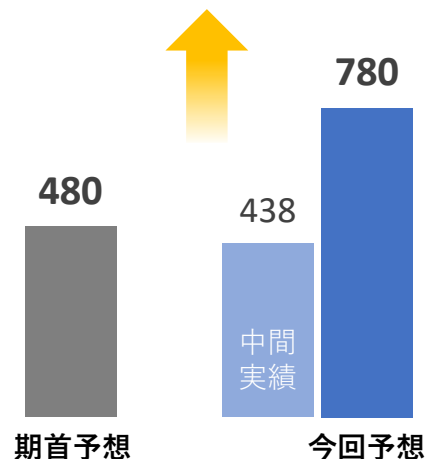


売上高・売上総利益

- ・ 期首予想どおりに推移

事業分野別の見通し③ 海外（単体）

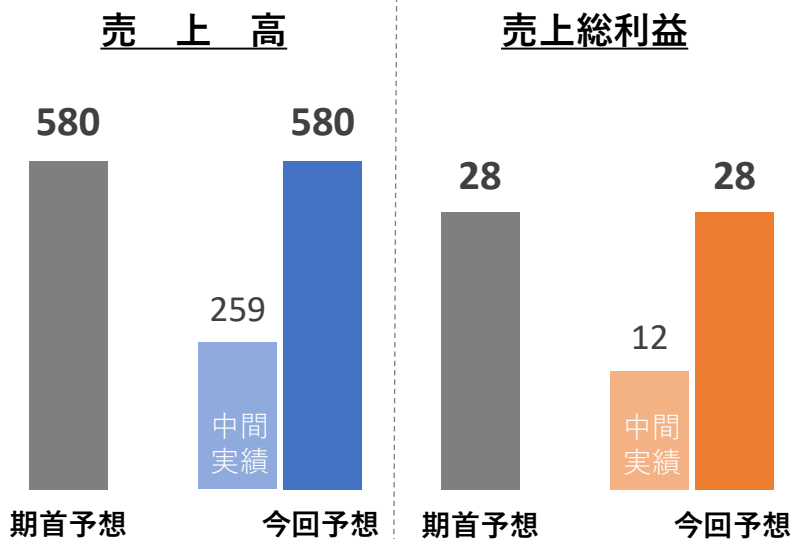
（単位：億円）



受注高

- ・ 東南アジアにおいて複数の大型港湾工事を獲得したことにより、期首予想に対し300億円増加する見通し

（単位：億円）



売上高・売上総利益

- ・ 当期に受注した大型工事は、本格的に工事が進捗する来期以降に売上高・売上総利益に寄与するため、今年度は期首予想通りに推移



- 中期経営計画基本方針（再掲）
- トピックス① 災害への取組み
- トピックス② 国内土木
- トピックス③ 国内建築
- トピックス④ 海外
- 増配による株主還元の一層の充実
- PBR向上に向けたアクションプランの進捗

既存事業の高度化を図るとともに、長期ビジョンの実現に向けて事業領域の拡大を加速する
また、事業戦略を支える経営基盤の強化を図る

長期ビジョン



社会を支え、人と世界をつなぎ、未来を創る

産業基盤の構築

持続可能な社会の実現

多様な人材

中計基本方針

長期ビジョンを実現する事業戦略と人材戦略の融合

長期ビジョン実現に向けた事業戦略

既存事業の高度化

部門間の連携強化により組織力の最大化を図る

- 国内土木・建築部門に営業本部を設置。営業情報の連携強化により顧客を拡大
- 得意分野の強化に向け、組織横断的に研究開発を実施

事業領域拡大の加速

新規事業を含め新たなビジネスモデルに果敢に挑戦

- 防衛・米軍の港湾施設整備、国土強靱化へ関与
- 「オフィス」「医療福祉」の分野を狙う
- 海外での多工種化と現地法人設立を促進

経営基盤の強化

幸福度の高い社員による企業価値を持続的に向上させるサイクルの構築

- 安心して働ける、働き甲斐がある職場づくり
- 人材戦略課を設置しダイバーシティを推進
- 各事業部門に採用と育成の権限を強化

トピック

令和6年能登半島地震復興への取り組み

（一社）日本埋立浚渫協会の一員として、北陸地方整備局との災害協定により発災直後の支援物資の輸送業務から、岸壁の緊急復旧、漁船だまりの航路啓開（浚渫）作業などを実施

自然災害が発生した際の災害応急対策等の実施にあたっては、国土交通省や都道府県などの地方自治体といったインフラ管理者からの要請、指示、委託等を受け下記のとおり対応

① 被災状況の確認・把握

② 緊急復旧・二次災害防止対策

③ 本復旧

輪島港緊急復旧工事



写真提供：国土交通省北陸地方整備局

今後の展開

10月31日契約

七尾港（大田地区）岸壁（－10m）（大田2号・物専）（災害復旧）改良外1件工事を東亜建設工業・大本組・株木建設JV が受注し、今年内の着工を予定

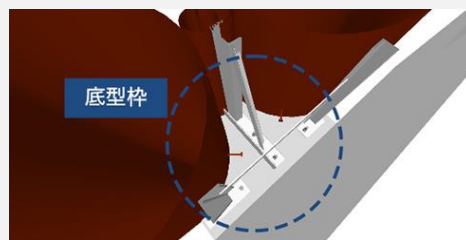
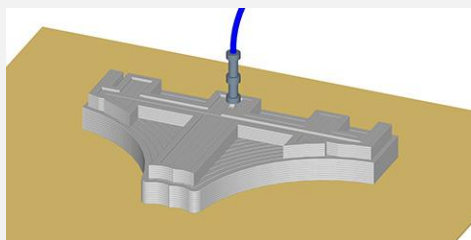
東日本大震災をはじめとする様々な災害への復興工事で培った知見・経験を活かし、各関係機関と連携し、能登地方の復興に貢献

トピック

建設用3Dプリンターにて作製した底型枠を用いた上部工コンクリート打設に成功

建設業界に特化した研究技術からサービス運用まで行う株式会社Polyuse（ポリウス）製の3Dプリンターを用いて、護岸形状にフィットする底型枠を作製し、上部工のコンクリート打設に成功

底型枠は、3DスキャナやUAV等により取得した護岸形状の3Dデータをもとに建設用3Dプリンターで作製



- 底型枠を簡易に効率的に作製することを実現
- 潜水土の水中での作業を大幅に軽減



今後の展開

本技術の適用現場を増やししながら構造のスリム化や据付方法の合理化といった施工の効率化を図るとともに、3Dプリンター作製物の適用範囲を拡大していく予定

トピック

当社ホームページ「PPP/PFI（公民連携）」ページ
リニューアル



当社が関わっているPPP／PFIの実績をホームページにて紹介

現在運営中の案件だけでなく、施工中の工事や事業が終了した案件もすべて参照可能



今後の展開

長年取り組んできたPFIへの参画で培った豊富な知見・経験を活かし、良質な公共サービスの提供と適切なコストによる運営を両立することで、地域経済の持続的な発展に貢献

トピック

シンガポール共和国で2件の大型工事を受注【7月及び9月発表】

当社は、シンガポール・テコン地区の埋立工事とトゥアス地区のコンテナバース建設工事のそれぞれで継続工事を受注

工事概要

工事名称

テコン地区埋立工事（その4）

発注者

シンガポール共和国住宅開発庁

工事期間

40か月

契約金額

約126億円（SGD109,000,000）

工事名称

トゥアス港第1期コンテナバース
（5バース）建設工事

発注者

PSAコーポレーションリミテッド

完成時期

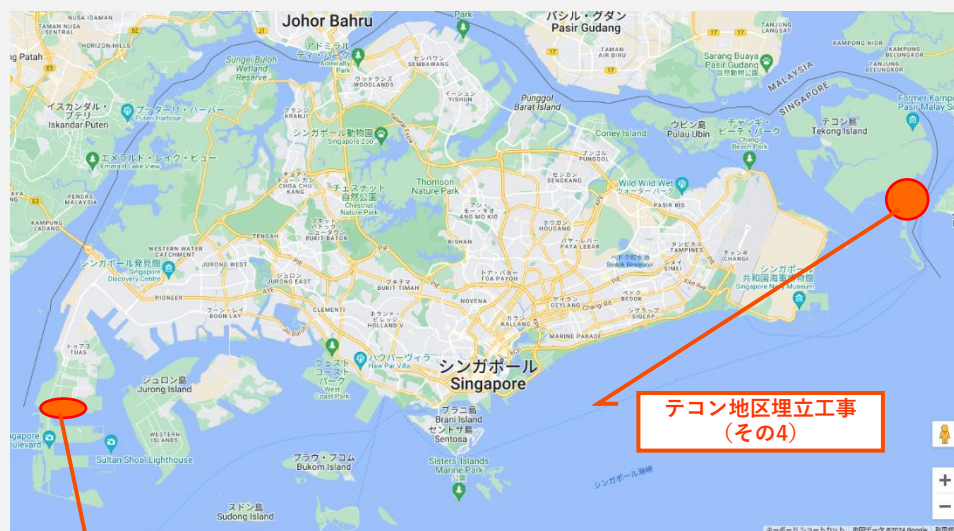
2026年後半予定

※価格非公表

請負者

東亜建設工業株式会社

工事位置図（シンガポール）



テコン地区埋立工事
（その4）

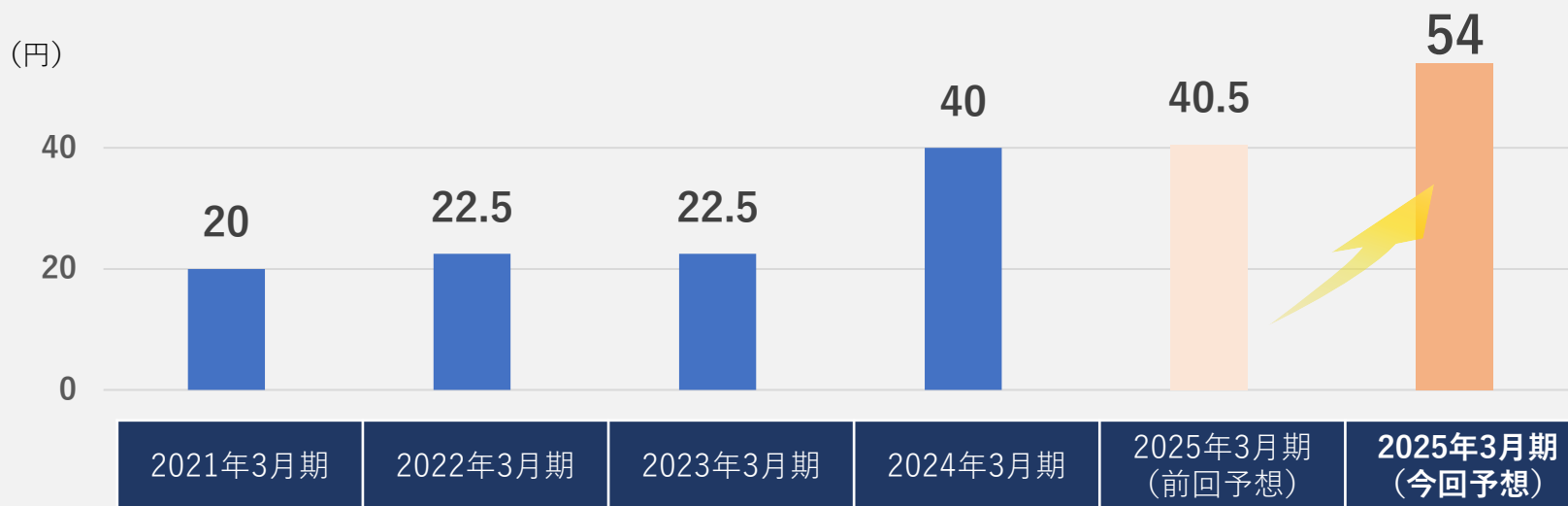
トゥアス港第1期コンテナバース
（5バース）建設工事

今後の展開

10月には、シンガポール共和国の他の地区でも大型の海洋土木工事を受注。これら工事の完成に向けて着実に施工を行うとともに、これまで培った経験と技術力を発揮し、同国の発展に貢献

今期の業績予想の上方修正に伴い、2025年3月期の配当予想を従来から
1株当たり13.5円増配の54円（前年比14円増）に上方修正

■1株当たり配当金



■配当性向

22.8%	23.5%	40.1%	31.3%	40.1%	40%以上
-------	-------	-------	-------	-------	-------

※ 2024年4月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。
上記は全て当該株式分割の影響を考慮した上での金額を記載しております。

PBR向上に向けたアクションプランの進捗について

■ 更なる増益・株主還元の充実により更なるPBR向上を目指す

- ✓ 豊富な手持工事の安全・品質管理を徹底し、**昨年度同様大きなトラブル・災害を起こさずに着実に施工し、更に利益を向上させる**
- ✓ 株主還元の一層の充実

2023～2025年度の3ヶ年累計で
総還元性向**70%**程度を目指す

■ PBR向上に向けたアクションプランで公表した施策

項目	実行・成果
大規模な自己株式取得	約70億円の自己株式取得を実施し、本年1月に完了（取得自己株式総数2,085,200株）
IR活動の強化	株主・投資家等との対話が2023年3月期37回から2024年3月期74回へ倍増、 2025年3月期は中間期末時点で36回
配当性向30%以上→40%以上	2025年3月期の配当性向は40%以上の予定

■ 投資家とのミーティング等で得られた意見を施策に反映し実施

項目	実行・成果
株式分割	4月1日付で1株を4株に分割する株式分割を実施
自己株式の消却	4月2日付で自己株式約17億円（分割前50万株）を消却

〒163 - 1031
東京都新宿区西新宿 3-7-1
新宿パークタワー 31F

東亜建設工業株式会社
経営企画本部 経営企画部
IRコミュニケーション室

TEL:03-6757-3820
<https://www.toa-const.co.jp/ir/inquiry/>

この資料には、現時点の将来に関する前提・見通しに基づく
予測が含まれております。
将来の業績は、経営環境等の変化にともない、
この資料に記載されている計画値とは異なる場合があることを
ご承知おきください。

